第５回市民自治推進委員会　都市調和部会会議録

◆開催日時：平成２８年９月９日（金）　１８：３０～

◆開催場所：登別市役所２階　第１委員会室

◆出席部会員：部会長　　長部　正之

　　　　　　副部会長　谷﨑　博美

　　　　　　部会員　　山下　克彦

　　　　　　　　　　　荒川　昌伸

　　　　　　　　　　　草野　義彦（協働推進庁内委員会）【都市整備部次長】

　　　　　　　　　　　南　　三明（協働推進庁内委員会）

【都市整備部都市政策Ｇ総括主幹】

◆欠席部会員：　　　　　中川　信市

　　　　　　　　　　　西尾　拓也

◆事務局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　有馬　亮太【市民生活部市民協働グループ主任】

◆議題：「健康」に関する取り組みについて

**≪事務局≫**

それでは、事務局から今日の会議の流れを説明させていただきます。

　前回、８月４日に開催した４回目の都市調和部会では、前段に市の企画調整グループから第３期基本計画の第１次実施計画と地域活性化地域住民生活等緊急支援交付金に関する情報提供がありました。

　その後、健康をテーマとした取組について、７月１３日に開催した部会長・副部会長会議において話し合われた内容について事務局から報告をしました。

　本日は、都市調和部会における健康に関する具体的な取組について議論していただきたいと思いますが、その前に配布している資料の「市民自治推進委員会スケジュール」について簡単に説明します。

この資料は、７月の部会長・副部会長会議で取り組みに係るタイムスケジュールを示してほしいとの要望がありましたので、事務局で作成しました。

資料は今年度のスケジュールになっており、左から縦に「役所のスケジュール」「市民自治推進委員会」「庁内委員会」「行政」「市民及び団体」それぞれのスケジュールとなっています。

いちばん左の「役所のスケジュール」は、市の新年度予算要求のスケジュールになります。

記載しているのは前年度のスケジュールですが、９月から実施計画ローリング、１０月からはそれ以外の予算の要求事務が始まります。

　「実施計画ローリング」は、新規事業や政策的な意味合いの強い事業、どちらかというと建築・土木系のハード整備事業などが対象となります。

　また、右の「予算」の方は、通常の市役所の事務や事業を維持していくために必要な経費、例えば施設の維持管理経費や職員の人件費などが対象となります。

　その右は「市民自治推進委員会」のスケジュールですが、４月２５日に全体会議を開催し、テーマを「健康」と決定しました。

　その後、月１回部会を開催して「健康」に関する議論を重ねてきました。

　７月１３日には、各部会における協議内容の確認などのため、部会長・副部会長会議を開催しました。

　今後につきましても、月１回程度部会を開催し、「健康」に関する取組について議論していただくことになりますが、市の新年度予算に反映するものについては、今月中に取り組みを固める必要があります。

　１０月頃には、また部会長・副部会長会議を開催する予定です。これは、前回の部会長・副部会長会議におきまして、部会を２回程度開催後、再度、部会長・副部会長会議を開催して、各部会の進捗状況を確認するような話がありました。

　１１月にも部会長・副部会長会議の開催を予定しておりますが、これは、市の事業への反映状況などについての報告と今後の取り組みの確認などを想定しております。

　今後の取組については、その下に「今後の取組の検討事項」として想定されるものを例示として記載しています。

　なお、１０月頃に予定している部会長・副部会長会議と１１月に予定している部会長・副部会長会議は、各部会の進行状況によってはどちらか１回の開催となる可能性もあります。

　１１月と１２月に「部会の開催　健康をテーマとした継続的な取組を検討」とありますが、こちらについては、「健康」に関する取組については、まずは市に関連するものを先に検討したいと思っておりますので、各種団体や市民レベルの取組について検討していくことになると思います。

　２月に「まちづくり部会（仮予定）市民講演会」とあります。これは、まちづくり部会では「健康」に関する取組として健康に関する講演を検討しておりまして、８月２９日に市民自治推進委員会の委員の皆さんを対象に開催しました。

今後、市民を対象としたものについては、今年度予算対応で２月頃に開催できる可能性がありますので、まだ仮の話ですが記載しております。

　「市民自治推進委員会」の右は「庁内委員会」と「行政」のスケジュールになります。

　「庁内委員会」は、市民検討委員会のときと同様に、市民自治推進委員会の６部会に対応した庁内の協働推進庁内委員会を６部会設置しています。

　「庁内委員会」と「行政」は、市民自治推進委員会の議論に対応して庁内部会を先日も開催しており、既存事業の見直しや新規事業などにより市の取組の反映を検討しております。

一番右の「市民及び団体」のスケジュールになりますが、こちらは主に委員の皆さんの対応を想定して記載しています。

上から３つ目の囲みに「各団体・事業所へ情報共有」とありますが、これは以前にもお願いしましたが、委員の皆さんは所属団体からの推薦等により市民自治推進委員会に参加していただいている形となっておりますので、所属団体の中で市民自治推進委員会はこのようなことをやっているということを市民自治推進委員会の取組について情報提供や情報共有をお願いしたいと思っております。　また、必要に応じて各団体内で健康に関する取組の検討をしていただきたいということで記載しております。

その下の囲み、１０月のところに「各団体・事業所内での新規事業の検討」とあります。

これは、部会の中で議論された内容について、委員が自分の所属する団体や事業所内で対応可能な取り組みについて、計画や予算等について検討していただきたいということで記載しております。

スケジュール的には、市の取組に関する協議を先にしていただき、その後の話になります。

最後に、右の一番下、２月のスケジュールに「市民、各種団体等が市民参加」とあります。

これは、先ほど説明しました「市民自治推進委員会」の２月のスケジュールにある「まちづくり部会（仮予定）市民講演会」に対応しているもので、講演会には、市民自治推進委員会の皆さんだけではなく、市民や各種団体の方々の参加を予定しているということで記載しております。

スケジュールの説明は以上になりますが、皆さんからの質問はありますか。

　後程質問がありましたら説明させていただきます。

　お配りしている資料のＡ４横のものです。こちらは今、空欄でお渡ししていますが、前回都市調和部会でお話ししました、都市調和部会の各団体における健康に関する取組について、前回の部会であるようでしたら今回の部会でお話ししていただきたいということでシートを用意しました。

　こちらの目的としては、前回の部会長・副部会長会議において、各部会の各所属団体等で既に取組をしていることについてまず洗い出ししたいという話があり、最終的には健康に関する取組を、例えばポイント制で今後進めて行く際に、そのような取組みを一覧化してどれを使っていけば良いかということで今回皆さんから取組内容について、お話をしていただければと思い用意しました。

　配布資料の最後は、前回の都市調和部会の議事録になります。こちらはまだ未定稿になりますが、前回の内容について配布しています。

　配布資料については以上ですが、先ほどお話ししたとおり、市の事業の新規事業に今回都市調和部会で絡めた取組をしたいということでありましたら、市のスケジュールになってしまいますが、今まさに実施計画ローリングというものをやっておりまして、それに載せるということであれば、こちらのほうで作成して予算要求もしていきたいと思っています。

　これまでの都市調和部会の健康に関する取組の案については、前回は副部会長からも最後にお話がありましたとおり、既存の散策路マップを今の実情に合わせて、現在のものにリニューアルしてみてはどうかというお話がありました。

　それから、市の公園に健康遊具を設置してはどうかというような案や市の公共建築物に木造建築を取り入れることにより、コンクリートストレスなど色々な健康面に配慮できるのではないかとの案もありましたので、それに付随して他に案がありましたら、お話ししていただければと思っております。

**≪部会長≫**

　一つ質問があります。今事務局から話しのあった、例えば新規の市営住宅等の構造形式とかいうものは、いつ決定されるのか。あるいはどのような話し合いを経て決められるのか。そのあたりを少し知りたいなと思っております。そのようなところに意見が入っていかないと、市営住宅建替えの構造形式はいつもどおりですと進んでいき、何の話にも載らないということになりますので、そういう構造形式を決定する機関や会議は、いつどこで行われるのでしょうか。

**≪副部会長≫**

　それこそ、今、新生町で計画があるものからスタートをしたいので、それに間に合うようにしたいですね。

**≪庁内委員≫**

　千代の台団地ですか。

**≪副部会長≫**

　もう決まっているのですか。

**≪庁内委員≫**

　いいえ。決まっていません。今、色々と調査をしていて、来年度実施設計に入っていく予定です。

　どのような感じにするか、どのようなコンセプトを持った住宅にするかなど、そういうことは担当の都市整備部と理事者で協議しながら形を決めていくことになります。

**≪部会長≫**

　そこに、例えばここの部会の意見が入るというような形がとれなければ、部会の中で一生懸命「木造いいよね。」という話をしていても、多分話だけで終わってしまいます。ここは市民自治推進委員会なのですから、市民としてそういう話し合いに参加させていただけないのでしょうか。

**≪庁内委員≫**

　今まではありませんでした。

　市長も色々考えて、子育てのことや高齢者のことも考えながら、どのようなタイプの家がいいというような話はしています。

**≪部会長≫**

　ＰＤＣＡサイクルで公共事業は行われるべきですが、そのプランというのが今まで通り「鉄筋コンクリート４階建てで行く。」というプランが決まっていて、そのまま実行するだけだったら、我々話し合いの必要はありませんよね。

**≪副部会長≫**

　それに関して事務局はどう思っているのですか。私たちを仲間に混ぜようとしているのであれば、そのようにしてもらわないと何を話しても繋がらないですね。

**≪事務局≫**

　確かにそうです。

**≪副部会長≫**

　今までそうだから力が入らないのです。ですから、それをやるのであれば、きちんと計画を一度聞かせてください、出してくださいというようなことをしなければなりませんよね。何のために話をしているのかわからないという話です。

　そうなると、皆さんだんだん力が入らなくなり、欠席しますということになってしまいます。

　そういう部分で話に入っていけるのであれば、時期をいつまでとはっきり言ってもらいたいです。

**≪部会長≫**

　部会員には専門家もいるのですから。

**≪副部会長≫**

　せっかく意見を出してもらったのに、ボツになるのでしたら、だんだん話さなくなりますね。

**≪部会長≫**

　例えば実施設計に入っていくという話になったら、既にどういう構造形式でやるのかも決まっているということなのですから。

**≪庁内委員≫**

　まだ今回については、そこまでは決まっていないです。色々と事情があり、４階建てで全て建てるのか、一部低層のものにするのか、そこもまだ決まっていないです。

**≪部会長≫**

　たぶん、その「事情がある」というのは、既存で空いているところや、必要戸数、政策空き家でとってある部分に入ってしまい動かない人がいるということですかね。

**≪庁内委員≫**

　政策空き家にするというか、建替えや廃止など、将来的な戸数を何戸にしたらいいかなど、そのあたりを見据えながら決めていきます。

　それも何年サイクルかで見直しをかけていくところで、近々その辺りをまた見直しするというところです。

**≪部会員≫**

　「市営住宅が今までどおり必要か」ということから話をしないといけないのではないでしょうか。市で造らないで民間に任せた方がいいかもしれないですし、敷地があって土地は提供するけど、民間で造ったり、家賃はこれくらいでこういう条件ですなど条件を提示し、その後の運営は、民間で行うか市が行うかなど、手法によって一番は建築コストが変わりますね。今、役所で建てたらコストが高すぎるので、民間にした方が間違いなく安くなります。

**≪部会員≫**

いまだに、自治推進委員会で話していることが何なのか分かりません。自治であれば、民間が自分たちでもう少し治めなさいということなのでしょうか。

**≪事務局≫**

今までは行政主体でやってきたことも多かったのですが、行政だけではできない部分が出てきているので、民間や市民や団体の力をお借りしてやっていきたいということです。

**≪部会員≫**

それであれば、今みたいな話をどんどん汲み上げてくださいということではないのですか。

**≪事務局≫**

自治推進委員会の中には、庁内部会もありますので、この部会であれば都市

整備部と一緒に議論していただいて、市役所で汲み取れるものであれば持ち

帰って庁内で協議することとしております。

**≪部会員≫**

それであれば、私が言っていることも汲み取っていただきたい。

**≪事務局≫**

全てを汲み取れるわけではありませんが、例えば市営住宅であれば、テーマが健康なので、構造全て木は厳しいけれども、内装に木を多く使うなど、そういう形で議論を進めていけるのではないかと思います。

**≪部会長≫**

思いをみんなで話し合って、載せていくタイミングはいつなのですか。

　ここの市営住宅に住みたいと思えるように、住むから住みたいに変わるものを造っていってもいいのではないでしょうか。ニトリとコラボしてトータルコーディネートされたような部屋にしたらどうでしょうか。と話をできる場がないですね。

**≪副部会長≫**

今、入居する人は構造よりも新しければ何でもいいのではないでしょうか。

**≪副部会長≫**

うちの部会は、都市調和部会ですから、箱物をつくることになりがちで、これまでは、どうしても絵に描いた餅になりかねないことが多い。

先日２９日に健康の講演をやったのですよね。あのようなスタイルでやるのも良いし、私たちは私たちで別のことをやればよいのではないでしょうか。

**≪事務局≫**

前回の部会の中で、副部会長がお話しされていたマップを、工学院の学生さんのデザインでリニューアルしたり、副部会長に距離を測っていただいたりというように取り掛かりやすい部分もありますし、コラボして取り組めるのではないかと思います。

**≪庁内委員≫**

公営住宅で話をするならば、空き部屋を減らしたい風潮はあります。幌別東団地は古いところが多いので、若い人が入るように、お金をかけて子育て世代向けに壁紙や照明やシャンプードレッサーをつけるなどをしています。

**≪部会員≫**

そのようなことに民間の感覚を入れたいですね。若い人がどういうものを好むのか分からないですよね。

**≪庁内委員≫**

選択制も取り入れていますが、公営住宅は場所や建物の新しい古いの関係でオプションを付けても希望者がいなかったという状況もあったりします。

**≪部会員≫**

基本的に人気の有無というのは場所ですね。場所と広さです。内装にはあまりこだわりはないと思います。

**≪部会長≫**

総合計画というのは、１０年のスパンでやっていく計画ですよね。市民が今後１０年にわたって市営住宅などがどういう風になっていったらいいかという意識をくみ上げたいと思いますが、そういう設問がスルーされてしまうと、市民の意識と役所の住宅施策がリンクしないのではないかと思い、住むというのではなく住みたいということを提案させていただきました。意識を載せていけるようなタイミングや場がないのが問題なのではないかと思います。私は、役所に対しての質問という意識ではなく、市民に対して聞いてみてほしいということでこの質問をしました。

　部会長・副部会長会議に出ると、よく話の中で市民協働や協働のまちづくりと言われるのですが、こういう意識が汲み取られないのであれば、協働という言葉を使われると、役所はお金がないからあなたたちでできることをタダでやってよというふうに聞こえてしまいます。

　私たちの思いを入れていけるのかという感じになっています。

**≪事務局≫**

お金がないのでできませんということですと話が進まなくなってしまいますので、例えば新規事業が難しくても、既存事業のうち民間の力を取り入れることで効果が上がったといった話をしていきたいと思っております。

　市民自治推進委員会も協働という形でやっておりますので、庁内委員も対等な立場で入ってもらって議論して、市民協働を進めていくということで考えております。

**≪部会長≫**

例えば、障がい者や高齢者が公営住宅に入居するときに数字として指標を作った方が良いのではとお話をさせていただいたこともありました。お金がなくてもできる話でしたが、その後話が出て来ないですね。せっかく話し合った思いを載せるのはどこなのかとなってしまいます。お金の問題だけではなく、それ以外の問題もあるのではないでしょうか。

　お伝えすると今やっている事業の正当性だけを説明されてしまいますが、もっと新しい意見を取り入れてほしいとなると、バリアが張られてしまいます。

**≪部会員≫**

　市役所は、変えようとしない。変えようとすることに抵抗がある。変えることによって責任が生じるからです。

**≪部会員≫**

　我々が思っていることを、何とか汲み取ってやってみようとする意識が役所の人にはありません。

　我々はこうしたいと思っていることについては、純粋に意見を言っています。私たちは、自分の利害は関係なく話していますが、役所は推進会議をやっているのだという形だけであって、意識が足りないのではないかと思います。

**≪部会員≫**

色々な思いや考えを汲み上げてもらって、もう少し意識をもってもらわないと何も進まないですね。

年に１つでも２つでも具体的に何かこういうようにできれば、意識も出てきて楽しくなりますよ。

**≪事務局≫**

事務局としても、皆さんには貴重なお時間を割いて来ていただいておりますので、　議論の中身については結果として残したいですし、市の予算に反映させることができるものはしていきたいと考えております。

　大きく変えることは難しいと思いますが、少しずつでも反映できればと思います。

部会長のお金がかからないでできる部分もあると思いますので、できるにしてもできないにしても担当と話をしまして、その対応について確認していきたいと思います。この部会の中で出てきた意見については、残せるものは残していき、進めていきたいと思っております。

**≪副部会長≫**

　登別市にボランティア団体とかそのような会は相当あるのですよね。

**≪事務局≫**

　ボランティア団体ももちろんあります。

**≪副部会長≫**

　私達ではなくて、その人たちの会にしてしまえばいいのではないでしょうか。

　その人達の方が、もっともっとやって欲しいみたいな話を言ってくるので、私達みたいな者がにわかに集まってあれこれ話すよりも、切羽詰まった言い方で「これやって欲しい」と言われた方が聞きやすいし、やりやすいのではないでしょうか。

**≪事務局≫**

　市民自治推進委員会で皆さん集まっていただいているのは、各団体からの推薦という形です。最初の市民自治推進委員会は、公募の形で、団体所属でない方々が集まってきて、色々と好きなことを話して、それでだんだん話がまとまらなくなり、最終的には分解してしまったという経緯があります。今回の新しい自治推進委員会については、それぞれ市内の各種団体から推薦して出していただいて、それぞれ責任を持った立場で議論してもらい、協働を進めて行こうということで、みなさんに集まっていただいています。

**≪副部会長≫**

　そこの内容が少し変わっているのですが、やっている内容は、あまり変わらないと思います。

**≪部会長≫**

　色々な意見が出て、空中分解したという話は聞いたことがあります。私は出てはいなかったのですが、例えばこの市営住宅の件に関しては、ここの部会では何とかしないとねという形で一致した意見だと思うのです。

**≪副部会長≫**

　その意見をどこかにぶつけて、こういう回答をいただきましたみたいな話を次にもらえるのであれば、このような話をしても、また別の方向から攻めたらどうだという話になるのだけれども、言ったはいいけど返ってこないし、話をしても、それはできないからみたいな話になると、話が全然ふくらまないし、しぼむ一方で、元気のなくなる会議になってしまいます。

**≪事務局≫**

　確かに、そこの部分で色々出てきているものについての回答というところについてまでは具体的に話していないところもあるので、会議の中で出てきたもので回答できるものについては、次回までにきちんと回答するような形で、もしできない部分があるのであれば、また角度を変えたり、そういう形でもっていけるようにしたいと思います。

**≪副部会長≫**

　今日はいきなり建築の話で進んだので、やはり最初に話があったように、マップのほうでやってはどうかと思います。

**≪事務局≫**

　最初は、手軽というか、やりやすいところからやるのがいいかと思います。

**≪副部会長≫**

今日は、建築の話が出たので、建築にいつ頃までにその話を出せば、

話のテーブルに載るとか、そういう話をしてもらい、間に合うのであれば建築の話を進めていこうと行こうということになると思います。

**≪部会長≫**

　こういう話が通らないから、市議会議員の何々先生に言えばいいのではないか、市議会から圧力をかけてもらえばいいのではないかという話になるので、都会的でないというか、旧態依然としたところがでてきてしまうのですよね。

**≪部会員≫**

　我々も何が何でもこれを通せということではなくて、やはりキャッチボールをしたいということなのです。

　部会長が言った時に、例えば担当の建築の部署の人達が来て、詳しく話を聞く場を少し設けてもらい、意見交換をするなどして、市民から見たらこのような視点やアイデアがあることを知っていただいて、そういうものからでもキャッチボールが始まるので、何が何でもこれをやらなければだめだと言っている訳ではないのです。

　できればこういうアイデアを何とか汲み取って、さらに膨らませて、いいものにして欲しいという思いです。

**≪事務局≫**

　部会としては、木造の関係で健康にいいということがあるので、直近であれば千代の台団地の建替事業があるので、それがもし間に合って、部会の意見として木材をもっと使って欲しいというものが反映できるのであれば、そこに反映できればいいということですね。

　スケジュールや反映についても確認して、来年度から実施設計と言っていましたね。

**≪庁内委員≫**

　来年度実施設計ですね。ただ、例えばこの部会でこのようなコンセプトでこのようにしたらいいというような意見を話したり、もしくは、今のこのような部会のときに建築担当に来てもらって意見交換をするなど、色々なやり方があると思います。

**≪部会長≫**

　実施設計になるということは、今年度予算立てしなければならないということですよね。

**≪庁内委員≫**

　来年度実施設計で、今年度のいつからか基本の設計というか、このような大きさのものだとか、何戸の住宅が必要だとか、それを今年度末くらい以降は固めて行かなければならないです。それをもとに実施設計を進めて行くということになります。

**≪事務局≫**

　基本設計は、まだ固まっていないのですか。

**≪庁内委員≫**

　まだ固まっていないです。

**≪事務局≫**

　それはある程度反映できる余地はあるのですか。

**≪副部会長≫**

　反映ではなくて、聞いてもらって、できるものであれば、少し考えてもらえばいいだけの話で、全部が全部これでやって欲しいなんて少しも思っていないです。

　私達の意見が少しだけでも取り入れられれば良いと思っています。

**≪部会長≫**

　市民がどのような意識を持っているのかを知りたかったというのもありました。入居するのは市民ですので、市民のみなさんの意見を聞いてもらいたかったです。

**≪部会員≫**

そのような意見を取り入れていただくため、お互い話合いをする場を設けて市民の意見というものを聞いていただきたいと思います。それは、お金のかからない提案も含めてです。

**≪部会長≫**

勉強し合いながら、５年、１０年かけて話し合い、良い仕組みづくりをして後の世代の人たちにすごく良好な環境を造っていきたい。

**≪副部会長≫**

動きがないと進化がないです。やらないと変わらない、やろうとしてくれないと何も変わりません。

**≪事務局≫**

住宅のポイント制や入居のしやすさについても、この部会の健康のテーマの一つでも良いかもしれません。一つの議論で、お金もかからないでできますよということですね。

**≪部会員≫**

　私たちは、仕事に関係なく来ていますので、行政の方も仕事ではなく、このまちを良くするためはどうすればよいかを考えていただきたいと思います。仕事で考えると、限度が出てしまいますので、１０年２０年先のことを考えていいものにしていきたいと思います。まちを良くしたいという視点で考えていただきたいと思います。

**≪事務局≫**

皆さんに時間を割いて来ていただいておりますので、一緒に話し合った中で何かしらの形にしたいと思っております。それに答えられるように対応したいと思います。

**≪部会長≫**

アイデアを出し合う会としてやれるのでしたら勉強会でもいいと思います。

**≪部会員≫**

これは、部会としての意見として取り入れていただきたいです。

**≪庁内委員≫**

　最初に事務局から話がありましたが、市の事業に載せるためには今月中には決めなければいけません。

**≪事務局≫**

市の予算対応が必要なものは次回までには決めていただかないと予算化できません。

**≪庁内委員≫**

　先ほどの今後の公営住宅の構造や仕様について、提言したりディスカッションするのであれば、この時期にこだわらなくても良いのではないでしょうか。

**≪事務局≫**

　基本設計前ですとか反映できる、載せることができるまでの期限ということになるのではないですか。

**≪部会長≫**

　マップはハードルが高いと思います。印刷したらお金がかかります。

**≪部会員≫**

市役所のホームページに載せれば良いのではないですか。

**≪副部会長≫**

基本、ホームページで見たい人は見て、欲しい人は市役所に取りに来れば良いと思います。

**≪庁内委員≫**

ダウンロードして、見ながらやれれば良いですね。今は、スマホやタブレットもありますので。

**≪部会長≫**

いろいろお話が出ましたが、本日は終了したいと思います。皆さまお疲れ様でした。

**【次回の会議について】**

　これまでの議論を踏まえ、健康をテーマに以前作成した散策マップのリニューアルについて都市調和部会でできることの協議を行う。

**【次回の日程】**

平成２８年９月２７日（火）１８時３０分から